

令和5年度 白子中学校区合同学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和5年11月7日(火) 16:00～17:20

2 場 所 白子中学校 被服室, 図書室, 少人数教室

3 全体会・あいさつ(白子中学校学校運営協議会委員長)

本年度も, 校区小中学校の多くの委員の方に参加いただき, 合同学校運営協議会を開催することができて良かった。3つのテーマは, 各校協議会においても話し合われている内容で, 情報共有だけでなく, 校区としてできることがあればと考えている。本日は忌憚のないご意見をお願いしたい。

4 分科会・協議内容(熟議)

(1) 第1分科会: テーマ「あいさつ・交通安全」について

○あいさつについて

- ・各校地域の皆様が, 交差点等に立って声をかけてくださっている。声をかけると, 挨拶を返せる子が多いが, 全員ではない。でも大人から挨拶することが大切だと思う。
- ・中学生になると, 挨拶を返せる子が増えてくるようである。
- ・学校でも指導をして頂いているが, 全員が挨拶できるまでには至っていない。
- ・家庭にお願いすることにも限界がある。学校と家庭の連携を図り, 挨拶ができる子を増やしていきたい。

○交通安全について

- ・子どもたちの様子を見ていると, 危ない場面が多々ある。
- ・これまでも, 地域の中の危ない箇所を提案して直したりしてきた。
- ・学校と家庭と地域で, 協力して交通安全を考えていくことが大切である。
- ・いろいろな場面で, 危険なことを教えていかないといけない。

(2) 第2分科会: テーマ「家庭学習の定着」について

- ・勉強を嫌がっている子どもがいる。
- ・理解できない, 分からないからやりたくないという気持ちが生まれる。
- ・勉強をする期間(強化週間)を設けると, 子どもたちは頑張る。
- ・保護者も, 毎日勉強を見ることはできない。
- ・中学生は, 部活動があるので時間に余裕がない。
- ・子どもによっては, 朝, 宿題をする子がいる。
- ・保護者の負担が大きいので, 強化週間などがあると協力しやすい。
- ・そもそも「家庭学習」とは何かを考えることも大切。勉強だけではなく, 母と料理をしたりすることも良いのではないか。
- ・低学年のうちに定着させないと, 高学年になるともつとなくなる。
- ・子どもは自分が好きな分野は一生懸命に取り組む。
- ・クロームブックが主流になってきて, 親が子どもの勉強を見るのが難しく

なってきた。

- ・子どもそれぞれに合った勉強の仕方を模索することも大切である。

(3) 第3分科会：「スクリーンタイムの縮減」について

- ・スクリーンタイムとは何か？メディア，PC，スマホ，web を見ている時間
- ・家庭内での時間のコントロールが，昔に比べて難しくなっている。
- ・親と子どもとの通信手段のために，スマホの普及が低年齢化している。
- ・大人自身がスマホ使用についてコントロールができていない人が多いので，子どもも難しい。
- ・部活動や外遊び，運動の時間が減ってきている。
- ・SNS を通じたいじめが増えてきている。
- ・家庭でスマホの使い方を話し合うことが大切。親と子で話し合う。
- ・スマホは親のもので，子どもは借りていることを認識させることが大事。
- ・家庭内で，使う場所・時間のルールを決めることが大切。自室に持ち込ませない。
- ・SNS でのいじめは，クラス内だけでなく，全国の人からいじめられる（拡散の力が大きい）という側面がある。昔と今とは全く違う。
- ・旭が丘小では，セキュリティについての学習をしている。
- ・健康被害（近視やドライアイ）などの弊害もある。
- ・親がもっと真剣に，スマホ等の使用について干渉，制御する必要がある。
- ・学校から保護者への教育も必要である。
- ・保護者は子どものスマホ使用に対して，もっと関心を持ち，怖さや悪影響などについて知ることが必要である。
- ・大人自身も使い方を見直すことが必要になってきている。

5 全体交流会

(1) 全体交流 ※各分科会より話し合われた内容を報告・交流

(2) 教育委員会（鈴鹿市教育委員会事務局教育支援課より）

- ・コロナ明けで開催できたことは大変良かった。
- ・3つの分科会ともに，大変熱く討論していただいた。
- ・中学校区の学校運営協議会委員が一同に会して，小中9年間でどのような子どもたちを育てていくのかを話し合うことは大切である。
- ・児童生徒の健全な成長のためには地域の方々の協力は不可欠であり，今後も多くの方々の支援をお願いしたい。

(3) 白子中学校長あいさつ

- ・今回の合同学校運営協議会は，委員の方自身に司会や記録，発表を担って頂き，大変熱心な討論となった。
- ・各分科会において，一人ひとりしっかり考えて意見をいただいた。
- ・あらためて地域のみなさんで育てていただいているということを実感した。
- ・今後も，学校と地域が連携して取り組んでいきたい。